

東京経済大学体育会

2019年度年間表彰受賞者

東京経済大学 体育会
委員長 塩田 皓平

学長賞（最優秀団体賞） 1 団体

端艇部

実業団も出場する第 97 回全日本選手権大会において軽量級男子ダブルスカル 3 位のほか、3 種目に入賞。田口美里（2 年）は陽進堂（実業団）のコックスとして女子エイトで 3 位入賞を果たした。第 46 回全日本大学選手権大会において女子舵手なしペア 3 位のほか 2 種目に入賞。第 60 回全日本新人選手権大会において男子ダブルスカル 2 位、同じく男子舵手付きフォアで 3 位となり今シーズン出場したすべての全日本級の大会においてメダルを獲得するなど、チーム全体で輝かしい成績を収めた。

父母の会会長賞（最優秀個人賞） 1 名（ペア）

端艇部 木村 聖奈（4 年）、鶴見 和佳奈（2 年） ペア

全国の強豪校が出場する第 46 回全日本大学選手権大会の女子舵手なしペア決勝において、3 位に入賞した。女子のメダル獲得は 7 年ぶりであった。

体育会会長賞（優秀団体賞） 1 団体

卓球部

関東予選を突破して出場した第 89 回全日本大学総合卓球大会（団体の部）において女子がベスト 16、男子がベスト 32 と健闘した。女子のベスト 16 は創部以来初の快挙である。関東学生リーグ戦においては、女子は春季・秋季ともに 2 部を堅持、男子は春季に 2 部から 3 部に降格したが、秋季は 3 部で優勝しており、早期の 2 部復帰が期待されている。

葵友会賞（優秀個人賞） 1 名（ペア）

卓球部 石井 あみ（3 年）、菊池 紗央里（3 年） ペア

令和元年度関東学生新人選手権大会（ダブルスの部）で、並み居る強豪を倒して準優勝を果たした。これは創部以来初となる快挙であった。

葵体育会賞（最優秀新人賞） 1 名（ペア）

端艇部 佐伯 真博（2 年）、鈴木 直也（1 年） ペア

一般、実業団も出場する第 60 回全日本新人選手権大会において男子ダブルスカルで 2 位となり、銀メダルを獲得した。今後の活躍を大いに期待したい。

敢闘団体賞 3 団体

陸上競技部

第 98 回関東学生陸上競技対校選手権大会 2 部において、武本雄大（3 年）が 200m に優勝するなど 8 種目に 9 人が入賞し、総合 5 位入賞を果たした。これは平成 8 年の 4 位以来、23 年ぶりのことである。4×400m リレーは、同大会で 2 年連続準優勝するとともに、日本学生陸上競技対校選手権大会、日本選手権リレー競技大会にも出場した。第 96 回箱根駅伝予選会では、森陽向（3 年）が本学トップとなり、本大会の関東学連チームに選出された。またチームは総合 20 位となり、出場基準が設けられてからは過去最高位と健闘した。

ソフトテニス部

令和元年度関東学生ソフトテニス春季リーグ戦において、男子は 2 部で優勝し、入替戦にも勝利して 1 部復帰を果たした。秋季リーグ戦では 1 部 6 位となり入替戦に挑んだが勝利して 1 部に残留した。女子は春季リーグ戦で 1 部 6 位、入替戦敗退で惜しくも 2 部降格となったが、全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会ではベスト 8 となっており、早期の 1 部復帰が期待されている。

軟式野球部

東都大学軟式野球連盟春季リーグ戦において 2 年連続で優勝を果たした。2 年連続優勝は創部以来初めてだった。その結果、全日本大学軟式野球選手権大会に 2 年連続で出場し、ベスト 16 となった。今後も全国での活躍に期待が高まる。

敢闘個人賞 3 名（ペア）

陸上競技部 星野 蒼太（3 年）

第 98 回関東学生陸上競技対校選手権大会において 2 部 400m で準優勝、2019 日本学生陸上競技個人選手権大会においては同種目で 5 位入賞を果たした。また、全国大会の常連となった 4×400m リレーでも主力メンバーであり、今後の活躍も大いに期待される。

ソフトテニス部 金子 凌（2 年）、渡辺 奎吾（3 年） ペア

令和元年度関東学生ソフトテニス選手権大会においてベスト 4 に進出し、全日本学生ソフトテニス選手権大会、関東学生選抜ソフトテニスインドア大会にも出場した。令和元年度関東学生ソフトテニス春季リーグ戦においては、男子の 1 部復帰に大きく貢献した。

ヨット部 相良 義博（4 年）、石原 陽太（2 年） ペア

一般、実業団も出場する関東 470 選手権予選レース（38 位/96 艇中）を突破して出場した関東 470 選手権のレースでは 35 位（70 艇中）となり、第 48 回全日本 470 級ヨット選手権大会の出場権を獲得した。これは、創部以来初となる快挙である。また、第 86 回関東学

生ヨット選手権大会においては、およそ 15 年ぶりとなる団体成績（11 位）にも貢献した。

奨励賞 3 団体

バドミントン部

関東大学バドミントン秋季リーグ戦において、男子は 3 部優勝、女子は 4 部優勝。女子はその後入替戦にも勝利して 3 部復帰を決めた。来季は、男子の 2 部復帰が期待される。

ハンドボール部

関東学生ハンドボール連盟秋季リーグ戦の 4 部において優勝し、3 部自動昇格を勝ち取った。3 部復帰は 1 年ぶりである。

硬式庭球部

関東大学テニスリーグ戦で女子が 5 部優勝、入替戦にも勝利して 4 部昇格を決めた。女子団体戦としては、本来、選手が 5 人必要なところを 4 人で出場し、常に 1 つ負けている状態でも勝ち続けて昇格を勝ち取った。女子部としての昇格は、約 30 年ぶりの快挙である。

特別功労賞

陸上競技部 山田 真樹（4 年）

1 年次から 4 年間にわたり数多くの国際大会への出場を果たし、素晴らしい成績を収めた。今年度は第 16 回日本聴覚障害者陸上競技選手権大会兼第 9 回アジア太平洋ろう者日本代表選考競技会において 200m と 400m で優勝、100m で 2 位入賞を果たし日本代表にも選出された。

功労賞 2 名（ペア）

軟式野球部 片山 大輝（3 年）

東都大学軟式野球連盟春季リーグ戦において、最多打点・首位打者・最優秀選手・ベストナイン（三塁手）などのタイトルを獲得、個人として輝かしい成績を収めるとともに、チームの優勝に貢献した。

スキー部 阿部 健太（3 年）

第 92 回全日本学生スキー選手権大会の 3 部大回転で優勝を果たした。また、第 59 回岩手県スキー選手権大会アルペン競技会男子回転の部でも優勝した。

父母の会新人賞 3 名（ペア）

少林寺拳法部 佐藤 華（2 年）、村山 美咲（2 年） ペア

少林寺拳法関東学生大会において、女子式段の部で 5 位入賞。また、関東学生新人大会で

も女子式段の部で4位入賞を果たした。

卓球部 倉橋 利弥 (2年)

平成30年度第53回関東学生卓球連盟会長杯争奪卓球大会(3部以下に所属する全選手が出場するトーナメント大会)の男子シングルスにおいて優勝した。また、関東予選を突破して第86回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)に出場し、2回戦進出を果たした。

ボクシング部 藤村 俊太郎 (2年)

第54回関東大学ボクシングトーナメントの5部ライトウェルター級(60-64 kg)において優勝を果たすとともに、チームの5部準優勝に大きく貢献した。

マネジメント賞 2名

ヨット部 池田 未麗 (4年)

4年間に亘り、選手の体調管理や食事はもちろんのこと、夏季休暇や春季休暇では週5日の合宿生活において選手が万全な状態で練習が行えるよう献身的なサポートを行い、団体戦及び個人戦の好成績に大きく貢献した。

卓球部 佐藤 晴輝 (3年)

本学主催の第57回高等学校選抜卓球大会 in 多摩の運営責任者として滞りなく大会を開催するとともに、本学卓球部の主務としてリーグ戦や全国大会のサポートを行った。